

講座番号

14

子どもの「いじめ・不登校」の現状と 親や教師の寄り添い方

講師：相馬 誠一（そうま せいいち）

講座概要

文部科学省（2022年10月発表）によれば、2021年度の小・中・高等学校における「いじめ」は615,351件、昨年度より10.0%増加しています。

小・中学校における「長期欠席」は413,750人、昨年度より68.9%増加、うち「不登校」は244,940人、24.9%増加しています。背景にあるのはコロナ禍だけではなく、

今の子どもたちに起こっている現状を理解し、長年の心理臨床相談の経験を基に、社会や親子関係など、その背景を紐解きながら保護者や教師の認識と理解、子どもへの寄り添い方等を考察します。



講座スケジュール

日時	土曜日（全2回）13:25～14:55
① 12月 2日（土）	「不登校」「いじめ」の現状と理解
② 12月 9日（土）	子どもの理解、子どもへの寄り添い方など
12月 16日（土）	予備日（開講日に実施できなかった場合のみ）

定員	20名
受講料	一般 4,000円
持ち物	筆記用具

講師：相馬 誠一（そうま せいいち）

東京家政大学名誉教授 / 東京家政大学大学院客員教授

前臨床相談センター所長、臨床心理士。博士（学術）。臨床心理士。日本カウンセリング学会認定スーパーバイザー。さいたま市・板橋区・北区・世田谷区等のスーパーバイザー。文部科学省視学委員・内閣府共生社会政策担当調査委員等歴任。カウンセラーとして40年間、主に子どもカウンセリング。著書等「いのちと死の授業」全6巻DVD総監修 丸善。「不登校-学校に背を向ける子どもたち」編著 ゆまに書房。「子どもたちにいのちと死の授業を」編著 学事出版。「入門いじめ対策」編著 学事出版 等多数。